

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第57回）

日時：2017年11月17日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・上野浩道・内藤俊史・青柳路子 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

欠席：齋藤智哉兼任研究員

内容：（1）上野浩道氏が執筆部分「青年の精神的自立にはたらく宗教と教育文化—西田幾多郎と西田天香の事例を通して—」の草稿発表。発表分は以下の通り

はじめに

第1章 西田幾多郎の〔無欲〕と精神の自立

1 生育環境と経済的自立

- ・北陸地方という地理的文化的環境
- ・経済的自立と精神的自立の相関

2 個の追求による精神的自立

- ・生死の隣接する家庭環境
- ・〔無欲〕になる〔投企〕と「精神の決定性」

3 精神的自立にはたらく教育文化

- ・高度な教育文化への志向
- ・世俗的挫折の克服と精神の自立

第2章 西田天香の〔捨欲〕による精神の自立

1 実業体験を通しての人間形成

- ・高等小学校卒業と実業体験
- ・教育文化へのあこがれと自学体験

2 経済的挫折から宗教的儀礼の獲得へ

- ・野心と経済的挫折
- ・〔捨欲〕による〔投企〕と儀礼の獲得

3 宗教共同体の設立と「精神の決定性」

- ・下坐業、利他行という宗教共同体
- ・宗教と教育文化による自立の共有

第3章 精神的自立における宗教と教育文化

3 精神の自立に関する教育的装置の図解

（2）意見交換

- ・第3章の図は載せるのか？ 載せるなら、矢印など入れてわかりやすくしてはどうか（内藤）
- ・「はじめに」は全体に使っていいくらいよく書けている（田嶋）
- ・座間の殺人事件では、殺された側の依存も問題（田嶋）
- ・自立しそこねている依存も書いたほうがいいか？（上野）

(3) 今後の予定。

- 12月に第1稿を全員提出し、2018年1月から3月まで各原稿の検討
- 2018年4月からの入稿開始を目指す

• 次回研究会の予定は、2017年12月15日14:00～。